

## 24. 診療放射線技師の読影補助能力向上を目的とした国立病院機構九州グループ内における臨床画像アーカイブの作成

### 研究の目的と方法

厚生労働省の通知より「医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進について」の中で診療放射線技師は画像検査等における読影の補助を行うようにとされています。この読影とは放射線診断医師がCT検査やMRI検査等の画像から得られた情報を詳細に検査を依頼した各診療科医師に伝えることで、何百枚にもなる画像を見ながらの作業となるため非常に時間と労力を要するものです。今回、この作業の補助を行うにあたってより分かりやすい画像の提供をすることが最善の策と考え、そのためには画像を撮影する診療放射線技師がより精度の高い検査を行う事や病気の特徴的な画像を把握することが必要不可欠です。

診療放射線技師が読影の補助を行うにあたり、必要な知識を集約した手引書を作成することを目的とします。

平成23年から長崎医療センターで行われた研修を基にまとめられた臨床画像セミナー症例集から既定フォーマットを作成し、各共同研究機関（熊本医療センター、九州医療センター、九州がんセンター、嬉野医療センター、鹿児島医療センター）における救急撮影時に多い症例について臨床画像を用い、既定フォーマットに沿って内容をまとめます。

### 本研究の参加について

これにより患者さんに新たな検査や費用の負担が生じることはありません。また、研究に扱う情報は、個人が特定されない形で厳重に行います。本研究にご自身のデータの使用をご希望されない方は、あるいはご質問等おありの方は、末尾の問合せ先までご連絡ください。

### 調査する内容

本研究は、新たな検査をすることはなく、既存カルテ情報のみを用いて実施する研究です。急性胆のう炎・精巣捻転・子宮外妊娠・心筋梗塞・頭部外傷・胸腹部外傷・びまん性軸索損傷・顔面外傷・頸椎損傷の典型的な画像所見を呈する症例のCT検査、MRI検査の内容を調査します。個人情報取り扱いについては、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」、「個人情報の保護に関する法律」及び適応される法令、条例等を遵守します。研究対象者の情報を取り扱う場合は秘密保護に十分配慮し、特定の個人を識別することができないようにします。

## 調査期間

研究期間：倫理審査委員会承認日～西暦2020年3月31日

（調査対象期間：西暦2005年1月～2020年3月）

## 研究代表者

長崎医療センター診療放射線部主任診療放射線技師 岡原継太

## 当院における研究責任者

診療放射線科 深松昌博

## 問い合わせ先

診療放射線科 深松昌博

TEL: 096-353-6501(内線5841)